

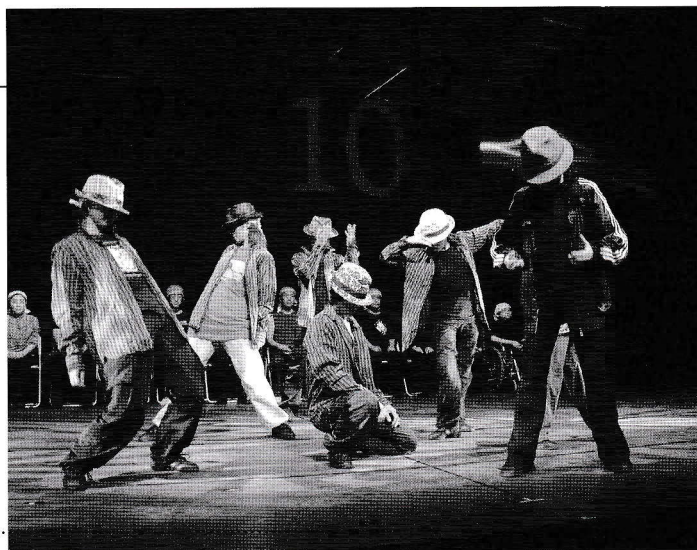


◀出番を待つ役者

演劇空間スペースベン

「戯曲 寺山修司論」に参加して

〈文/スペースベン主宰 田中 勉〉



▲李康順・DanceWAG

青

森県立美術館主催の、県民参型演劇「戯曲 寺山修司論」に参加した。もう一つの主催として、県民参加型演劇制作実行委員会とあるように、昨年行われた太宰治の「津軽」に続く県民参加型演劇の第二弾である。

この企画の話をもっと最初に聞いたのは、去年の暮れあたりだった記憶があるから、なんだかんだと一年近い関わりになっていったのかもしれない。

まず始めに屋外シーン。美空ひばりの「川の流れるように」の曲にのせて、豊田児童センター一輪車クラブの群舞。そして十和田乗馬倶楽部と青森乗馬倶楽部協力による、馬3頭も出演。涙もろい出演者は、毎回既にこのシーンでぼろぼろ泣いていたのを思い出す。私はと言えは、密かに「振り返るな、ハイセイコー」のセリフに泣いていたが…。

続いて、屋内シーン。

女子大生役二人の軽快な案内によって物語は進んで行く。物語？そう、今回の題材は寺山修司。物語というには少し違ったものだったかもしれない。しかし、「戯曲 寺山修司論」と銘打った、長谷川孝治の作品は進んでいく。上演するまでの、4人の寺山を出演させるとは聞いていたが、違った年代の寺山を、同時に同じ舞台に出演させるとは、流石に面白い作品構成である。狭い部屋に「世間」

が流れ込み、大勢の人間がひしめき合う部屋のシーンも面白かったし、何よりも、女子大生役の青海衣央里、石橋はな、の二人の活躍は特筆すべきであろう。

そしてボレロ。

ボレロの曲にのせての役者の表現。歩き、あるきはあるき、あるいは舞い、あるいはたずむ。役者の身体表現が昇華され、寺山の世界が広がって行く。それは、振り付けの長内真理の世界と、寺山の世界が融合し、そして反発しあった世界だったかもしれない。

殺しても殺しても出現してくる母親。短歌を絡めながら母親と寺山の関係と意思が繰り返られるが、それ自体を違う角度から検証しようという、「戯曲 寺山修司論」は展開されていく。弘前劇場の看板役者、福士賢治や山田百次の味は、やはり捨てがたい。

そして、李庚順。

朗読とダンスが同時進行していく。長谷川孝治の作品では、この作品の他の場面でも用いられていたように、日常生活と同じようにステージ上でもそれぞれが同時進行していく。セリフの同時進行ではなく、朗読とダンスの同時進行ではあったが、それは的確に寺山の世界を表出していた。参加していた役者とダンスワグのメンバーの質の高さは、見たものでなければ分からないかもしれない。そして再度屋外シーンへと続き、屋内でのラストシーンへと続くの



▲4人の寺山修司と衣央里・はな

◎公演データ

県民参加型演劇 戯曲 寺山修司論

作・演出/長谷川孝治

ダンス振り付け/長内真理、沼尾みやこ

引用「寺山修司全詩歌句」(思潮社)

■9月23日(土)24日(日) 開場17:00 開演17:30

三沢市国際交流教育センター

■9月30日(土)10月1日(日)10月7日(土)10月8日(日)

開場17:00 開演17:30

三沢市国際交流教育センター 青森県立美術館

信じている。オーディションを受けて初めて参加したとは思えない、出演者すべてが輝いていた。開演前に、一心不乱に客席とステージを、祈るように掃除していた姿を、私は忘れられない。さて、次はどんな県民参加型演劇が展開されていくのか…。楽しみである。

11月のFriday Amusement Negative Shop

■11月3日(第665回)

[crossingcafe file.38]

だべり場〜次はなんだ〜 案内人: 田中勉

■11月10日(第666回)

[crossingcafe file.39]

だべり場〜匿名掲示板風に語れ! 回顧録5〜

案内人: 安達良香

■11月17日(第667回)

[crossingcafe file.40]

だべり場〜次はどうした〜 案内人: 安達良香

■11月24日(第668回)

[crossingcafe file.41]

だべり場〜匿名掲示板風に語れ! 回顧録6〜

案内人: 安達良香

※特別番組以外全て午後7時30分〜、料金/一般500円 高校生以下100円 ※料金改定しました! 高校生以下は、特別番組以外100円でご覧になれます。チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

tsutomu_tanaka ☎070-5095-2028

スペースベンHPアドレス <http://spaceben.com/>

Eメールアドレス owner@spaceben.com

演劇空間 スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎ 0178-43-9876
FAX 050-3588-8350